

日本医療検査科学会 科学技術委員会
2024年度第2回委員会議事録(案)

1. 日時：2024年10月5日(土) 10:30～11:35
2. 場所：パシフィコ横浜 第511,512号室
現地および ZOOM によるオンライン参加
3. 出席者(敬称略)：清宮、藤本、山内恵、神山、田中、川崎、汐谷、山本裕、角田、高崎、御子柴、金沢、青柳、植田(代理:沼田)、和田、関田、山口、末吉、山下、緒方、藤田、新井、姫野、黄江、倉村、戸枝、中川、飯島、元中、松原、雪松、比嘉、中野、藤村、斎藤、山内露、大久保、大澤、外園
欠席者(敬称略)：小島、菊地、三宅、桑、澤部、山本慶、片岡
4. 配布資料：
 - 資料1：2024年度第1回委員会 議事録
 - 資料2：委員会名簿(2024.06)
 - 資料3：退任・委員交代について
 - 資料4：第56回大会 第25回科学技術セミナーについて
 - 資料5：第23集マニュアル進捗状況について
 - 資料6：第24集以降のマニュアル企画について
5. 報告：
 - (1) 第1回委員会議事録について(資料1)
事前配布のもと、特に修正なく承認された。
 - (2) 委員名簿の確認及び委員交代・退任について(資料2,3)
委員名簿を各自確認し修正がある場合は事務局まで。
2名の委員の交代が承認された。今後、本部理事会にて交代の手続きを進める。また、藤本 副委員長の定年に伴う退任の報告があった。今後アドバイザーをお願いし快諾いただいた。
 - (3) 第56回大会 第25回科学技術セミナーについて (資料4)
資料に基づき説明があり、当日の流れを再確認した。アンケートの方法変更について改めて外園から説明があった。
6. 議事
 - (1) 第23集マニュアルの進捗状況について(資料4)
藤本副委員長より全体の構成含め進捗状況の報告があった。(詳細は別紙参照)
 1. 血液ガスとは(総論)：藤本副委員長
 2. 各項目の臨床的意義、基準値、パニック値

pH、PCO₂、PO₂ : 和田委員、HCO₃、BE、SO₂ : 高崎委員

3. 各測定装置の特色

- ・ラジオメーター株式会社（承諾済み）製品関連 鈴木 肇 様、学術関連 平尾 優太 様
- ・シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社（承諾済み）

POC 事業本部 クリティカル&エマージェンシーケアグループ 濱田宏輝様

- ・アイ・エル・ジャパン株式会社、アボットジャパン株式会社に関してさらに交渉

4. データ判読のコツ：天理の松尾先生に執筆依頼

5. 各種酸塩基平衡事例判読：2 症例くらいは集めたい

呼吸性アシドーシス 藤村委員 1 事例、三宅委員 1 事例

呼吸性アルカローシス：山内(恵) 副委員長 1 事例、黄江委員 1 事例

代謝性アシドーシス：中野委員 1 事例、三宅委員 2 事例、雪松委員 1 事例

代謝性アルカローシス：三宅委員 1 事例、津田喜裕先生 2 事例（外部）

6. 血液ガス分析におけるピットフォール

Na：戸枝委員、K：中野委員、Cl、Br 含薬および抗てんかん薬による CL 電極への影響（山本裕委員）、GLU：元中委員、CRE：齊藤委員、LA：津田喜裕先生（外部）、イオン化 Ca：石垣卓也先生（外部）、Hb：黄江委員

そのほか、容積置換の話：神山 委員、血清と血ガスとの相関に関する担当：中川委員、齊藤委員、津田喜裕先生（外部）

7. 検体を扱う上での注意点

動脈血採取法と注意点：山内（露）委員、採血後の放置時間とデータへの影響：汐谷委員、動脈と静脈の血液ガスの違い：比嘉 委員

8. 血液ガス精度管理法・中央管理法の経験談

AQURE システム関連：山本裕委員（AQURE システム）、その他に関してはメーカーから推薦をお願いする。

大久保アドバイザーより本マニュアル販売ターゲットを看護師にも拡大してはどうかとする意見をいただいた。2024 年 12 月を目処に原稿をまとめあげ、年明けの 1, 2 月の刊行を目指す。

(2) 第 24 集以降のマニュアル作成について

清宮委員長から精度管理をテーマに取り上げてはどうかとの提案があった。

今後委員にアンケートを行い、テーマの選定を行う。

次回の委員会は春季セミナー会期中（2025 年 4 月 弘前）。

以上
(記録：外園)